B6FJ-8121-01 Z0

取扱説明書

液晶ディスプレイ - 20 ワイド

（VL-20WB2A/20WB2G）

はじめに

このたびは、弊社の液晶ディスプレイ - 20 ワイド（VL-20WB2A/20WB2G）（以降、本製品）をご購入いただき、誠にありがとうございます。このマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

2012 年 1 月

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

・ 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

有寿命部品について

・ 本製品の LCD パネルは、有寿命部品です。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化などが進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
・ 有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境などにより異なりますが、1 日約 8 時間、1ヶ月で 25 日のご使用で約 5 年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用など、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
・ 本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
・ 摩耗や劣化などにより有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
・ 本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。
・ 1 日 8 時間以上の連続運転等で早期に部品寿命を迎えた場合、修理に応じられない場合があります。

＜主な有寿命部品＞
LCD パネル、アルミ電解コンデンサ

24 時間以上の連続使用について

・ 本製品は、24 時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的にしていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

本製品は国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

電源の瞬時低下について

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

静電気および低周波電磁界に関するガイドラインについて

本製品は、社団法人電子情報技術産業協会が定めた『表示装置の静電気および低周波電磁界に関するガイドライン』に適合しています。

本製品は電気・電子機器の特定の化学物質＜鉛、六価クロム、水銀、カドミウム、ポリブロモビフェニル、ポリブロモジフェニルエーテルの 6 物質＞の含有表示を規定する JIS 規格「J-Moss」において、化学物質の含有率が基準値以下であることを示す「グリーンマーク（非含有マーク）」に対応しています。
本製品における特定の化学物質（6 物質）の詳細含有情報は、下記 URL をご覧ください。
http://www.fmworld.net/biz/fmv/jmoss/

■ 安全にお使いいただくための絵記号について

本マニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

■ 画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページを示しています。

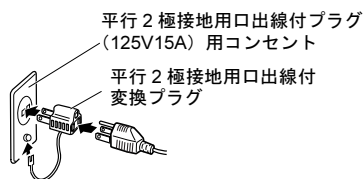
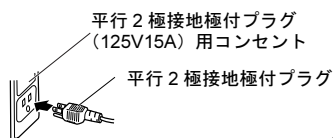
■ 製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記
VL-20WB2A/20WB2G	本製品
DVI ケーブル	デジタルケーブル
アナログディスプレイケーブル	アナログケーブル

■電源プラグとコンセント形状の表記について

本製品に添付されている電源ケーブルの電源プラグは「平行 2 極接地極付プラグ」です。接続先のコンセントには「平行 2 極接地極付プラグ（125V15A）用コンセント」または「平行 2 極接地用口出線付プラグ（125V15A）用コンセント」をご利用ください。
「平行 2 極接地用口出線付プラグ（125V15A）用コンセント」をご利用の場合は、添付の「平行 2 極接地用口出線付変換プラグ（2P 変換プラグ）」を取り付けてください。
※「接地用口出線」とはアース線、「接地極」とはアース部分のことです。
本文中では、次のように略して表記します。

名称	本文中の表記
平行 2 極接地極付プラグ（125V15A）用コンセント	コンセント
平行 2 極接地極付プラグ	電源プラグ
平行 2 極接地用口出線付プラグ（125V15A）用コンセント	2 ピンのコンセント
平行 2 極接地用口出線付変換プラグ	2P 変換プラグ

注 ：平行 2 極接地用口出線付変換プラグは使用しないでください。

平行 2 極接地用口出線付プラグ
（125V15A）用コンセント
平行 2 極接地用口出線付
変換プラグ

■警告ラベル／注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。
警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

■PC リサイクルマークについて

本製品の装置銘板には、PC リサイクルマークがつけられています。PC リサイクルマークがついた弊社の製品は、弊社専用受付窓口にて無償で回収・再資源化いたします。廃棄・リサイクルについては、パソコン本体に添付されている『取扱説明書』をご覧ください。

■商標および著作権について

VESA、DDC は Video Electronics Standards Association の登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

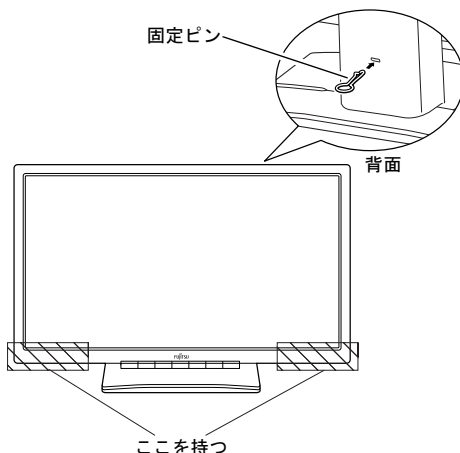
使用上のご注意

- 液晶ディスプレイは次の特性をもっていますが、故障ではありません。
  - 長時間同じ表示を続けると残像となることがあります。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
  - 表示する条件によっては、むらおよび微少なはん点が目立つことがあります。
  - 製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。
  - 液晶パネルは非常に精度の高い技術で作られておりますが、一部に常時点灯、消灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は 99.99%以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの、表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています）。

  これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- 液晶ディスプレイの取り扱いについて
  - 衝撃を与えたり、強い力で押したりしないでください。故障の原因となることがあります。特に、画面のお取り扱いについてはご注意ください。
  - ひっかいたり、先のとがったもので押したりしないでください。画面やカバーに傷が付く原因になります。
  - 画面を拭くときは、傷を付けないようご注意ください。

重要

- **画面を拭く場合、市販クリーナーの成分によっては画面の表面コーティングを傷めるおそれがあります。「日常のお手入れ」（→ P.30）をご覧ください。**

- 画面やカバーにゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。表面がはげたり、変質したりすることがあります。
- 持ち運ぶときは背面のハイト固定ピン穴に固定ピンを差し、画面やスタンド部を持たないで、画面の下の両端を持ってください。また、液晶パネル面に手が触れないようご注意ください。

・本製品を設置するときは、次の点に注意してください。
  - 窓際へ設置する場合は、画面に直接太陽光があたらないようにしてください。液晶パネルを傷める場合があります。
  - 液晶パネルの表面は外光の映り込みを低減する低反射処理を行っていますが、外光の映り込みが気になる場合は、ディスプレイの向き角度を調節してください。
  - テレビやラジオ、衛星放送チューナーなどのそばに設置すると、受信の障害となる場合がありますので、遠ざけてご使用ください。
  - 本製品の近くで、携帯電話やトランシーバーなどを使用すると、画面が乱れたり、異音が発生したりする場合がありますので、遠ざけてご使用ください。
  - 本製品のスタンドの設置面には、台足を使用しております。台足の特性上、長時間同じ場所に設置していると、ご使用のテーブルや家具などに台足が吸着することがあります。
・本製品の各ケーブルを抜き差しするときは、誤動作することがありますので、必ず先にパソコンの電源を切ってください。
・本製品の各ケーブルが引っ張られた状態で使用しないでください。故障や誤動作の原因となることがあります。

⚠警告

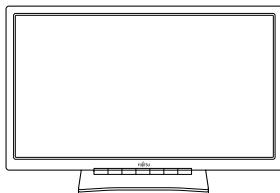
・**本製品の内部には高電圧部分がありますので、分解しないでください。**

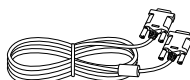
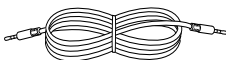
⚠注意

・**映画などの動画をお楽しみいただくときは、周囲を充分に明るくし、なるべく離れてご覧ください。また、画面が明るすぎると感じたときは、「明るさ」を調整してください。**

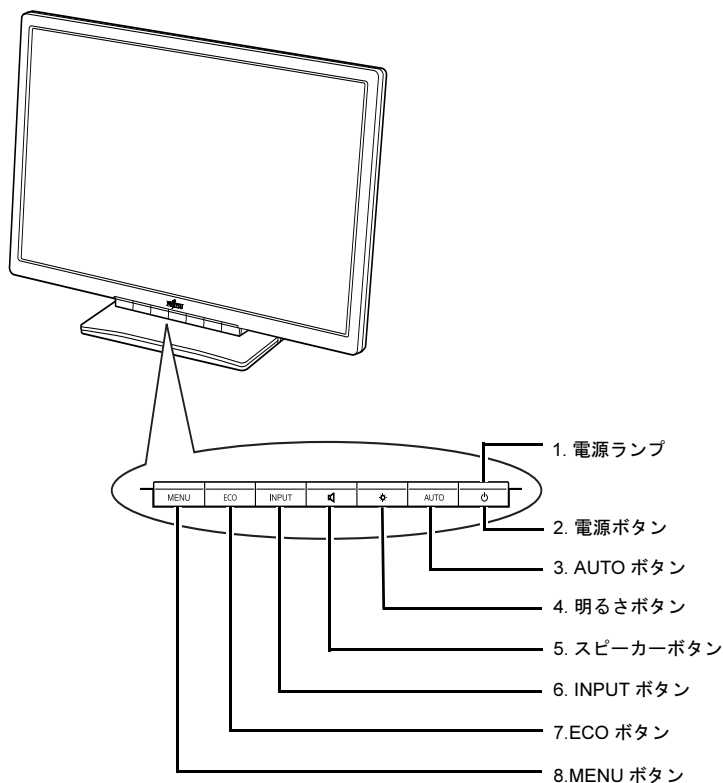
目次

1 製品を確認してください

梱包箱から製品を取り出し、製品が揃っていることを確認してください。万一足りないものがあった場合は、おそれいりますが、「富士通パソコン診断センター」までご連絡ください。

液晶ディスプレイ本体

電源ケーブル
（2P 変換プラグ付き）

デジタルケーブル

オーディオケーブル

2 各部の名称と機能

■前面

1 電源ランプ

電源が入ると青または緑色に点灯、省電力時はオレンジ色に点灯します。
「省電力機能」(→ P.24)

2 電源ボタン(⏻)

本製品の電源オン/オフを切り換えます。

3 AUTO ボタン

メニュー画面を消すとき、調整項目、調整値を取り消すときに押します。
メニュー画面が表示されていないときに押すと、自動調整が実行されます(アナログ入力時)。

4 明るさボタン(☼)

メニュー画面上で各項目や設定値を変更するときに押します。
メニュー画面が表示されていないときに押すと、明るさ調整の画面が表示されます。

5 スピーカーボタン（🔈）

メニュー画面上で各項目や設定値を変更するときに押します。
メニュー画面が表示されていないときに押すと、音量調整の画面が表示されます。

6 INPUT ボタン

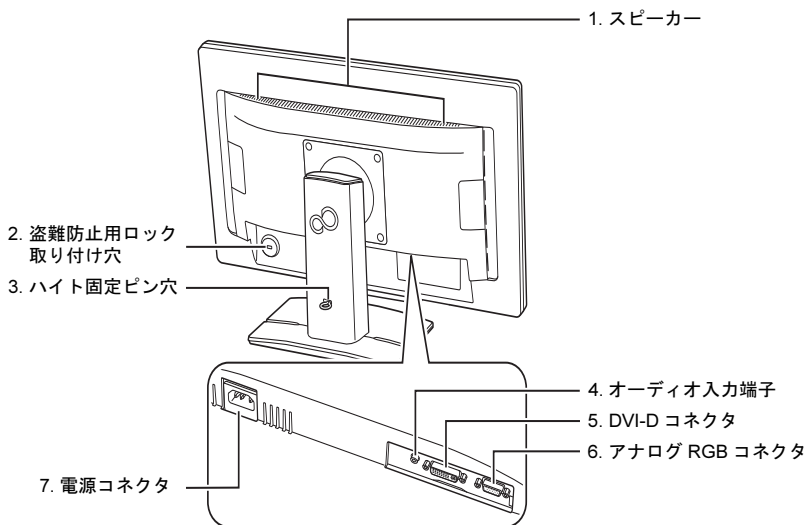
メニュー画面上で各項目を変更するときに押します。
メニュー画面が表示されていないときに押すと、入力切換画面（デジタル／アナログ）が表示されます。

7 ECO ボタン

メニュー画面上で各項目を変更するときに押します。
メニュー画面が表示されていないときに押すと、LED エコモードのオン／オフを切り換えることができます。

8 MENU ボタン

メニュー画面を表示、調整項目を選択するときに押します。

■背面

1 **スピーカー**

音声を出力します。

2 **盗難防止用ロック取り付け穴**

市販の盗難防止用ケーブルを取り付けることができます。

3 **ハイト固定ピン穴**

移動時にディスプレイを固定するピンを差し込む穴です。
ご購入時には固定ピンが差し込まれています。

4 **オーディオ入力端子（AUDIO）**

パソコン本体と添付のオーディオケーブルで接続します。

5 **DVI-D コネクタ（DVI）**

パソコン本体と添付のデジタルケーブルで接続します。

⚠注意

・本製品はセットパソコン専用液晶ディスプレイです。他の HDCP 対応機種との接続はしないでください。

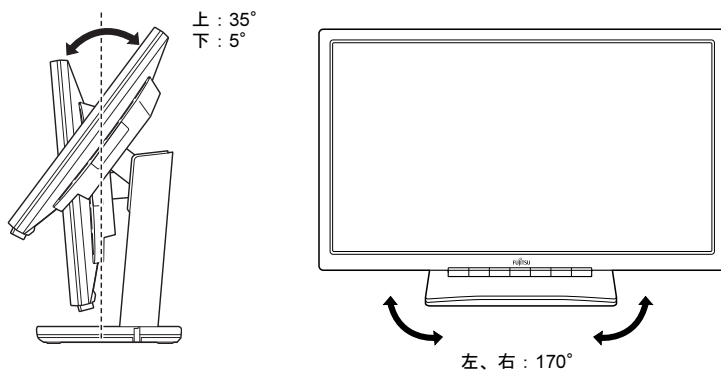
POINT

▶HDCP とは "High-bandwidth Digital Content Protection" の略称で、DVI を経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。
HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。
本製品は、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを表示することができます。

6 アナログ RGB コネクタ（VGA）
パソコン本体とアナログケーブルで接続します。
セットパソコンとの接続では使用しません。

7 電源コネクタ（POWER）
添付の電源ケーブルを接続します。

画面の角度調節

ディスプレイの上下の角度を調整するときは、ディスプレイの両端をつかみ、任意の角度に調節してください。

⚠注意

- ディスプレイの上下の角度を調節するときに、ディスプレイ下部とスタンドの間に指をはさむおそれがありますので、ご注意ください。けがの原因となることがあります。
- 上図に示す角度を超えて無理な力を加えると、故障の原因となります。

3 液晶ディスプレイの設置と接続

接続の前に

・すべての接続が終了するまで、本製品とパソコン本体の電源は入れないでください。
・本製品の電源ケーブルを、パソコン本体のアウトレットではなくコンセントに接続して使用する場合は、本製品の電源を入れた後にパソコン本体の電源を入れてください。

⚠注意

・ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、本製品が落ちて破損やけがのおそれがあります。本製品を設置するときは、安定した場所に設置してください。

・パソコン本体への接続については、パソコン本体の『取扱説明書』もご覧ください。

パソコンと接続する

パソコン本体の電源を入れる前に、パソコン本体と本製品とが正しく接続されていることを確認してください。

1 **ケーブルを接続します。**

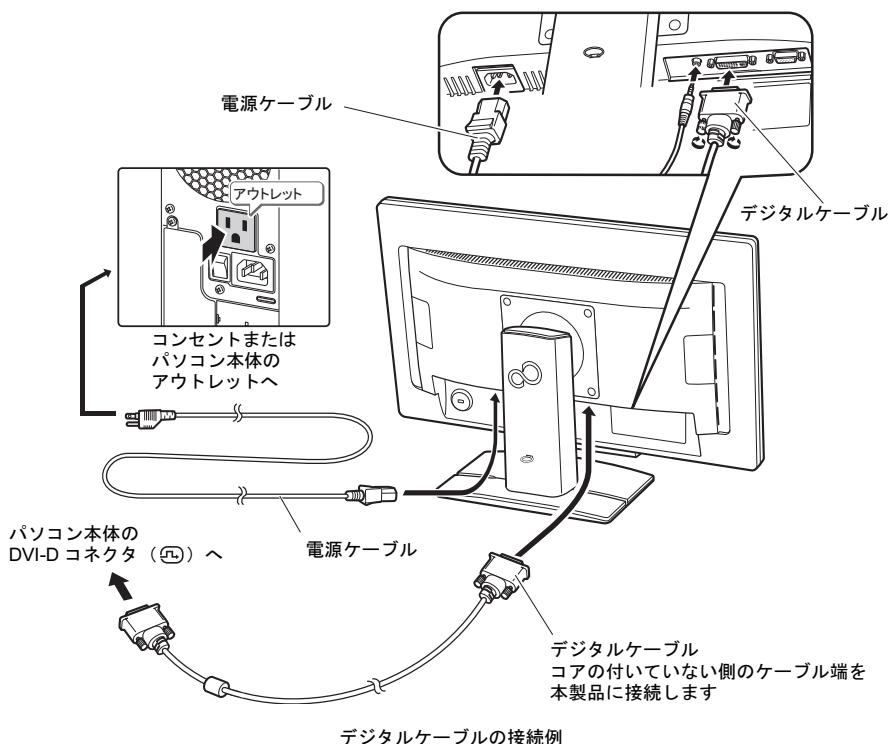
■ **パソコン本体にアウトレットがない場合**

電源ケーブルをコンセントに接続します。コンセントに接続する場合は、本製品の電源を入れた後、パソコン本体の電源を入れてください。

■ **パソコン本体にアウトレットがある場合**

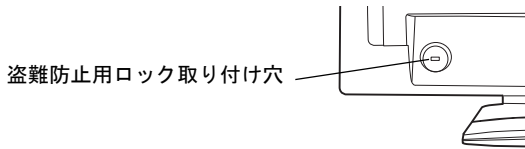
電源ケーブルをパソコン本体のアウトレットに接続します。このように接続すると、本製品の電源がパソコン本体の電源と連動して入るようになります。

初めて電源を入れるときは、パソコン本体の電源を入れてから、本製品の電源を入れてください。ケーブル接続後、本製品に一度電源を入れると、以後はパソコン本体の起動にあわせて電源が入ります。パソコン本体を起動するたびに本製品の電源を入れる必要はありません。

デジタルケーブルの接続例

⚠注意

・本製品は、コンセントまたはパソコン本体のアウトレットの近くに設置し、異常が発生したときに、すぐに対応できるようにしてください。
・万一、異常が発生した場合は、本製品の電源を切り、その後電源ケーブルをコンセントまたはパソコン本体のアウトレットから抜いてください。
・本製品をご使用中は、不用意に背面ケーブル接続箇所に触れたり、ケーブルの抜き差しを行わないでください。必ず本製品の電源をオフにしてから行ってください。

盗難防止

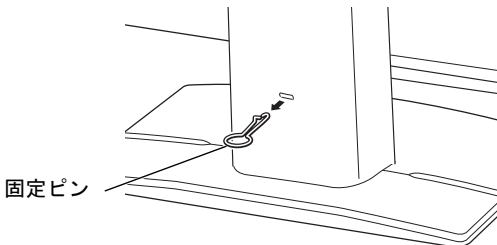
本製品の背面には、盗難防止用ロック取り付け穴があります。
市販の盗難防止用ケーブルを接続できます。

画面の高さ調整（ハイト機能）

本製品はディスプレイの高さを調整できます。

■ご使用の前に

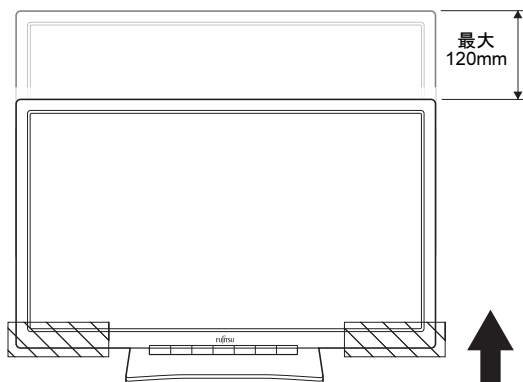
ご購入時は固定ピンにより高さ調整機能がロックされています。

1 **梱包箱から本製品を取り出し、平らな机などの上に置きます。**

2 **本製品の背面にある固定ピンを抜き取ります。**

⚠注意

・本製品を修理などで再度梱包する場合は、必ず画面を一番下まで下げてから固定ピンを差し、ディスプレイをロックした上で梱包してください。

■画面の高さを調整する

画面の高さを調節する場合は、画面の下の両端（斜線で囲んだ部分）を持って、任意の高さに調整してください。

⚠注意

- ディスプレイの高さを調整するときにディスプレイの下部とスタンドの間に指をはさむおそれがありますので、ご注意ください。けがの原因となることがあります。
- 上図に示す範囲を超えて無理な力を加えると、故障の原因となりますのでご注意ください。

4 ディスプレイドライバー（INF ファイル）のインストール

初めて電源を入れるとき

パソコン本体に接続後、最初の電源投入時に、本製品のドライバー（INF ファイル）のインストールを要求されることがあります。この場合、画面の指示に従って「プラグアンドプレイモニタ」として設定を完了させてご使用ください。
本製品の型名は「VL-20WB2A」または「VL-20WB2G」です。「デバイスマネージャー」で本製品の型名を見たとき、「VL-20WB1G」と表示されますが、故障ではありません。

5 液晶ディスプレイのセットアップ

AUTO セットアップアクション機能（アナログ入力時）

本製品は、次の場合、最適な表示を得られるように画面位置、水平サイズなどを自動調整します。
・初めてディスプレイを本体に接続したとき
・今までに入力されたことのない解像度（モード）が設定されたとき

重要

- AUTO セットアップアクションは、本製品の対応する解像度（モード）でのみ動作します（→ P.32）。
- 一度調整された解像度（モード）は、設定値が本製品に記憶されるので、記憶後は AUTO セットアップアクションは動作しません。
- AUTO セットアップアクションは、画面全体が暗い色に設定されている場合、動作しないことがあります。その場合は、パソコン本体で画面の背景を白色に設定してから、AUTO ボタンを押して自動調整（→ P.21）を行ってください。
- デジタルケーブルでの接続の場合は、AUTO セットアップアクションおよび自動調整は動作しません。

LED エコモード機能

本製品には、画面の明るさを抑え消費電力を低減する「LED エコモード」機能が搭載されています。

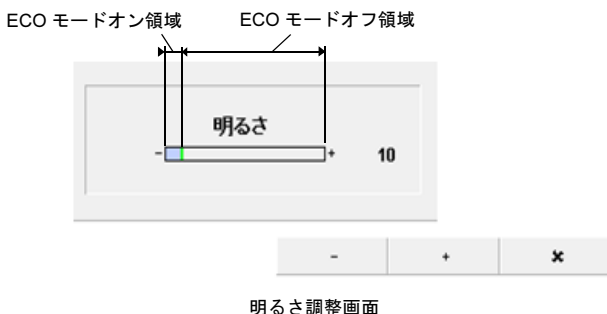
■ LED エコモード

ECO ボタンで次のように切り換えます。

モード名	機能
ECO モードオン（緑色に点灯）	画面の明るさと消費電力をそれぞれ低減します。 明るさ：約 76%以上 消費電力：約 53%以上（最大消費電力比）
ECO モードオフ（青色に点灯）	ご購入時の設定です。

重要

- LED エコモードと明るさ調整の関係は次のようになります。ECO モードオン領域は、明るさ調整値 10 以下です。

明るさ調整画面

細かい設定を行う

本製品はメニュー画面でさまざまな設定を行うことができます。設定には MENU ボタン、ECO ボタン、INPUT ボタン、スピーカーボタン、明るさボタン、AUTO ボタンを使用します。

■ メニュー画面の基本的な操作

□ ボタンの基本機能

MENU ボタン
- メニュー画面の表示
- メインメニュー項目の決定

ECO ボタン
メニュー画面が表示されている場合
- メインメニュー／サブメニュー項目の選択

メニュー画面が表示されていない場合
- LED エコモード切り換え

INPUT ボタン
メニュー画面が表示されている場合
- メインメニュー／サブメニュー項目の選択

メニュー画面が表示されていない場合
- 入力切換画面表示

スピーカーボタン
メニュー画面が表示されている場合
- 調整値の変更
- 設定値の選択

メニュー画面が表示されていない場合
- 音量の設定画面表示

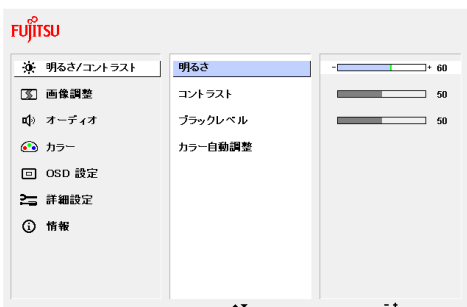
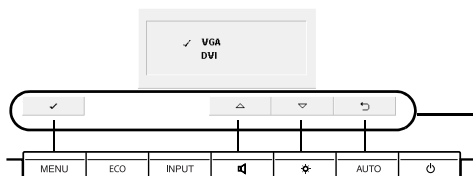
明るさボタン
メニュー画面が表示されている場合
- 調整値の変更
- 設定値の選択

メニュー画面が表示されていない場合
- 明るさの調整画面表示

AUTO ボタン
メニュー画面が表示されている場合
- メニュー画面の消去
- 変更した調整値の取り消し
- 選択した設定値の取り消し

メニュー画面が表示されていない場合
- 自動調整（アナログ入力時）

□ 操作方法

各ボタンを押すと、それぞれの設定画面と操作アイコンが表示されます。

（画面は機種や状況により異なります）

それぞれの操作アイコンの機能は、次のようになります。

➔	・メインメニュー選択時は、サブメニューへ切り換えます。 ・サブメニューの「カラー自動調整」と「工場出荷設定に戻す」を実行します。
▼ ▲	メインメニュー／サブメニュー項目を選択します。
▽ △	設定値の項目を選択します。
− ＋	調整値を変更します。
✓	選択した設定値または変更した調整値を決定します。
⮌	選択した設定値または変更した調整値を取り消します。
✖	メニュー画面を消去します。

調整項目の内容

名称		機能	アナログ	デジタル
明るさ		画面全体の明るさを調整します。	○	○
コントラスト		画面全体の濃淡の強さ（コントラスト）を調整します。	○	○
ブラックレベル		黒色のレベルを任意に設定できます。	○	○
カラー自動調整		画面の色を自動調整します。 また、コントラスト、ブラックレベルを出荷設定値に戻します。	○	×
フェーズ		文字のにじみや画面の水平方向のノイズが発生する場合に調整します。	○	×
クロック		帯状（縦）のノイズが発生する場合に調整します。	○	×
水平位置		表示画面の水平位置を左右に調整します。	○	×
垂直位置		表示画面の垂直位置を上下に調整します。	○	×
拡張		1600 × 900 ドット以下の解像度を拡大するときの方法を選択できます。 ・フルスクリーン：画面の縦横比を無視して画面いっぱいに拡大します。 ・アスペクト比を固定：画面の縦横比を保ったまま拡大します。画面の両端に黒帯が出る場合があります。	○	○
音量		スピーカーの音量を調整します。	○	○
ミュート		ミュートのオン／オフを選択できます。	○	○
カラー	色温度を選択できます。		○	○
	sRGB	色温度と明るさを sRGB に設定します。	○	○
	6500K	色温度を 6500K に設定します。	○	○
	7500K	色温度を 7500K に設定します。	○	○
	9300K	色温度を 9300K に設定します。	○	○
	ネイティブ	色温度をパネル固有の値に設定します。	○	○
	カスタムカラー	色温度を任意に調整できます。	○	○
言語	OSD [注]の表示言語を選択できます。		○	○
	日本語	OSD メニューやメッセージを日本語で表示します。	○	○
	各国語	OSD メニューやメッセージを各国語で表示します。	○	○
OSD タイムアウト		OSD メニューの表示時間を設定します。	○	○
入力の選択		アナログ RGB コネクタ（VGA）と DVI-D コネクタ（DVI）を切り換えます。	○	○
DDC/CI		VESA DDC/CI をオン／オフします。 本製品は、VESA（Video Electronics Standards Association）の DDC/CI（Display Data Channel Command Interface）規格に対応しています。	○	○
ACR		表示するコンテンツに応じてバックライトを自動制御し、コントラスト比を最大 20,000：1 にすることが可能です。	○	○
工場出荷時の値に戻す		すべての項目をご購入時の設定に戻します。	○	○
情報表示		現在入力されている解像度と周波数、入力コネクタなどを表示します。	○	○

注：OSD とは On-Screen Display の略です。ボタンを押して表示されるメニュー画面などのことを言います。

重要

- カラー自動調整時は、画面上に白色と黒色が表示されている必要があります。
  画面の背景を白色に変更してください。
  画面の背景を白色にすると、デスクトップのアイコンの名前が黒色になります。

POINT

- 省電力状態になると、スピーカーからの音声出力が停止します。

入力切り換えについて

本製品には２つの入力コネクタ（アナログ RGB コネクタ：(VGA）アナログ入力、および DVI-D コネクタ：(DVI）デジタル入力）があります。
入力切り換えは自動で行われますが、両方の入力に信号があり、任意で入力を切り換えたい場合は、手動で切り換えてください。「操作方法」（→ P.19）

1. **INPUT ボタンを押して、入力切換メニューを表示します。**
2. **スピーカーボタン、明るさボタンを押して、入力先を選択します。**
3. **MENU ボタンで決定します。**

入力切換メニューは入力信号があり、画面が表示されている状態でのみ表示されます。
アナログ、デジタル入力共に信号が入力されていない場合には入力切換メニューは表示されません。

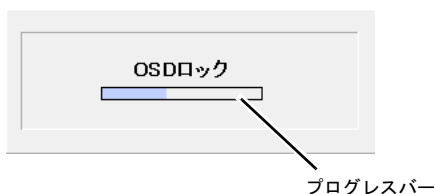
POINT

- 入力切換メニューで切り換えた入力に信号が入力されていない場合、入力信号がある元の入力が表示されます。

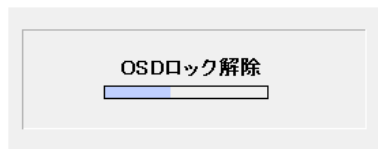
ボタンロック機能

本製品には MENU ボタンと電源ボタンをロックする機能が搭載されています。ボタンをロックすることで、無断で設定を変更することができず、誤操作防止が可能となります（ECO ボタン、INPUT ボタン、スピーカーボタン、明るさボタンおよび AUTO ボタンはロックできません）。

■ MENU ボタンをロックする

本製品の電源がオフの状態で MENU ボタンを押しながら電源ボタンを押すと、OSD ロック画面を表示します。プログレスバーがすべて青色になると、MENU ボタンをロックします（MENU ボタンを押してもメニュー画面は表示しません）。

POINT

▶ プログレスバーがすべて青色になる前にボタンを離すと、MENU ボタンのロック操作をキャンセルします。

▶ MENU ボタンのロックを解除する場合も、同じ方法でボタン操作をします。プログレスバーがすべて青色になると、MENU ボタンのロックを解除します。また、プログレスバーがすべて青色になる前にボタンを離すと、MENU ボタンのロック解除操作をキャンセルします。

■ 電源ボタンをロックする

OSD を表示していない状態で、ECO ボタンを押しながら INPUT ボタンを押すと、電源ボタンをロックします

POINT

▶ 電源ボタンのロックを解除する場合も、同じ方法でボタン操作をします。

6 省電力機能

本製品はパソコンの省電力機能に対応しています。この機能は、マウスおよびキーボードが一定時間操作されないと、画面の表示を中断し、電力の消費を抑えます。
省電力状態では、画面の表示が中断し、本製品の電源ランプはオレンジ色に点灯します。
省電力状態から元の状態に戻すには、キーボードのいずれかのキーを押すかマウスを動かします。
本製品は、パソコン本体の制御に応じて、次の表に示すいずれかの状態に移行します。移行時には画面に「節電に入ります」というメッセージが表示されます。
省電力機能については、パソコン本体のマニュアルをご覧ください。

パソコン本体の状態	本製品の動作					本製品の消費電力
	画面表示	本製品の電源供給元	電源ボタン	電源ランプ	LED エコモード	
通常状態	表示あり	コンセント、またはパソコン本体のアウトレット	オン	青	オフ	最大時：26W／49VA（オーディオ動作時） ご購入時[注1]：21W（出荷輝度設定時およびオーディオ非動作）
				緑	オン	LEDエコモードオン時：12W
映像出力オフ[注2]	表示なし	コンセント、またはパソコン本体のアウトレット	オン	オレンジ	オフ	省電力動作時：0.4W
スリープ／スタンバイ、または休止状態	表示なし	コンセント	オン	オレンジ	オン／オフ	省電力動作時：0.4W
スリープ／スタンバイ、または休止状態	表示なし	パソコン本体のアウトレット	オン	消灯	オン／オフ	0W
―	表示なし	コンセント	オフ	消灯	―	0.3W[注3]

注 1：ご購入時の状態で、明るさを特に調整しないでかつスピーカーを使用しない状態での消費電力です。
注 2：パソコン本体の省電力機能により画面の表示が中断されてから、スリープ／スタンバイ、または休止状態に移行する前の状態です。
注 3：「電源ボタン「オフ」時」の電力消費は、電源ケーブルをコンセント、またはパソコン本体のアウトレットから抜くことにより 0 にすることができます。

7 こんなときには

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、次の内容をお調べください。お客様からお問い合わせの多いトラブルに関する症状、原因、対処方法を記載しています。
問題が解決できない場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」またはご購入元にご連絡ください。
「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」については、パソコン本体に添付されている『取扱説明書』をご覧ください。

画面が表示されない

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
電源ランプが消灯している	電源ケーブルが正しく接続されていない。	電源ケーブルを本製品の電源コネクタとコンセント（またはパソコン本体のアウトレット）に正しく奥まで確実に接続してください。	「パソコンと接続する」（→ P.13）
	本製品の電源が入っていない。	パソコンの電源が入っていることを確認し、本製品の電源を入れてください。	「各部の名称と機能」（→ P.8）
	パソコンが省電力状態になっている（本製品の電源ケーブルをパソコン本体のアウトレットに接続している場合）。	パソコン本体の省電力機能の設定を確認してください。	−
電源ランプがオレンジ色に点灯している	パソコンが省電力状態になっている	キーボードのどれかのキーを押すかマウスを動かしてください。省電力状態が解除されます。	「省電力機能」（→ P.24）
	デジタルケーブル、またはアナログケーブルが本製品およびパソコン本体に、正しく接続されていない。	本製品とパソコン本体にデジタルケーブル、またはアナログケーブルを正しく接続してください。	「パソコンと接続する」（→ P.13）
電源ランプが点灯するが、画面が表示されない 場合によっては、次のメッセージも表示される「規定外の信号です」「入力信号がありません 節電に入ります」	パソコン本体の設定が標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。	パソコン本体の設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。	「標準表示仕様」（→ P.32）
	デジタルケーブル、またはアナログケーブルが本製品またはパソコン本体に、正しく接続されていない。	本製品とパソコン本体にデジタルケーブル、またはアナログケーブルを正しく接続してください。	「パソコンと接続する」（→ P.13）

画面がおかしい

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面が明るすぎる	明るさの設定値が大きすぎる。	メニュー画面または明るさ調整画面より明るさを調整してください。	「調整項目の内容」（→ P.21）
画面が暗くなった	LEDエコモードが「ECOモードオン」になっている。	ECO ボタンを押して、LED エコモードを「ECO モードオフ」に設定してください。	「LED エコモード機能」（→ P.17）
	明るさの設定値が小さすぎる。	メニュー画面または明るさ調整画面より明るさを調整してください。	「調整項目の内容」（→ P.21）
	液晶パネル内部の LED が、長期使用で暗くなっている。	有償にて交換させていただきます。詳しくは「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」まで連絡してください。	–
	ACR 機能が「オン」になっている。	ACR 機能を「オフ」に設定してください。	「調整項目の内容」（→ P.21）
画面いっぱいに表示されない	拡張設定が「アスペクト比を固定」になっている。	拡張設定を「フルスクリーン」に設定してください。	「調整項目の内容」（→ P.21）
	画面位置の調整が適切でない（アナログ接続時のみ）。	画面位置の調整を行ってください。	「調整項目の内容」（→ P.21）
画面の縦横比が崩れてしまう	拡張設定が「フルスクリーン」になっている。	拡張設定を「アスペクト比を固定」に設定してください。	「調整項目の内容」（→ P.21）
	パソコンの設定が標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。	パソコン本体の設定を標準表示仕様の解像度（モード）に設定してください。	「標準表示仕様」（→ P.32）
	パソコンの設定が720×400の解像度（モード）になっている。	パソコン本体の設定を720×400以外の解像度（モード）に変更してください。	–
格子状の模様が見えないことがある（アナログ接続時のみ）	フェーズが合っていない。	フェーズを調整してください。	「調整項目の内容」（→ P.21）
帯状のしま模様（縦）が見えることがある（アナログ接続時のみ）	クロックの調整が適切でない。	クロックの調整をしてから、フェーズの調整をしてください。	「調整項目の内容」（→ P.21）
画面がはみ出る（アナログ接続時のみ）	画面位置の調整が適切でない。	自動調整を実施してください。それでもなお画面がはみ出る場合は、クロックの調整を行った後に画面位置の調整を行ってください。	「調整項目の内容」（→ P.21）
	標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。	パソコンの設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。	「標準表示仕様」（→ P.32）

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面が消えることがある	電源ケーブルが奥まで確実に接続されていない。	電源ケーブルを奥まで確実に接続してください。	「液晶ディスプレイの設置と接続」（→ P.12）
次のメッセージが表示される「規定外の信号です」	本製品に適切な信号が入力されていない。	パソコンの設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。	「標準表示仕様」（→ P.32）
文字の太さが場所によって異なる 画面の内容が大きくぼけて表示される	1600×900よりも低い解像度（モード）になっている。	デジタル処理で擬似的に拡大表示しているので文字の太さが異なる場合があります。 最適な画面にするには「画面の設定」で解像度（モード）を1600×900に設定してください。	－
	フェーズ、クロックの調整の調整が適切でない（アナログ接続時）。	クロックの調整の調整をしてからフェーズの調整をしてください。	「調整項目の内容」（→ P.21）
電源投入直後やパソコンの起動時または終了時に画面が点滅したり、乱れたりすることがある	パソコンからの信号が連続的に切り換わるために起こる。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	－
点灯したままの点や黒い点が表示される	液晶パネルの特性で、故障ではありません。	見えにくい壁紙に設定することをお勧めします。	－
画面を切り換えても前の像が薄く残っている	長時間同じ静止画像を表示すると、この現象が起こることがあります。液晶パネルの特性で、故障ではありません。	パソコンの電源を切るか、変化する画像を表示していれば、前の像は1日程度で自然に消えます。スクリーンセーバーを設定することをお勧めします。	－
表示画面にむらがある（もやもやしている）	液晶パネルの表面を押した。	本製品の電源を切り、その後電源を入れてください。	「各部の名称と機能」（→ P.8）
文字がにじんだり、画面がずれている（アナログ入力時）	画面全体が暗い色に設定された状態で自動調整が行われた。	画面の背景を白色に設定してから、もう一度 AUTO ボタンを押して自動調整を行ってください。	「AUTO セットアップアクション機能（アナログ入力時）」（→ P.17）
明るい部分がつぶれたり、暗い部分にノイズが見えたりする（アナログ入力時）		画面上に白色と黒色が表示されている状態にして、メニュー画面よりカラー自動調節を行ってください。	「調整項目の内容」（→ P.21）

画面調整ができない

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
AUTO ボタンで自動調整ができない	画面全体が極端に暗い色を表示している状態で自動調整が行われた。	表示画面全体をできるだけ白い画面にして、もう一度自動調整を行ってください。	「AUTO セットアップアクション機能（アナログ入力時）」（→ P.17）
	標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。	メニュー画面の情報表示で、現在表示されている解像度（モード）を確認し、パソコン本体の設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。	「標準表示仕様」（→ P.32）、パソコン本体のマニュアル
	デジタル入力でパソコンと接続している。	デジタル入力でパソコンと接続されている場合は、調整が不要なため自動調整はできません。	「調整項目の内容」（→ P.21）

音が聞こえない／変な音が聞こえる

症状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
スピーカーから音が聞こえない	ミュートがオンになっている。	メニュー画面より、ミュートをオフにしてください。	「調整項目の内容」（→ P.21）
	音量が小さすぎる。	メニュー画面が表示されていない状態で、スピーカーボタンで音量を調整してください。	「各部の名称と機能」（→ P.8）
	パソコン本体の音量つまみが最小になっている。	適切な音量に調整してください。	–
	パソコン本体の音量設定がミュートになっている（画面右下の通知領域に と表示されている）。	キーボードの Mute（消音）ボタンを押すか、画面右下の通知領域の をクリックして音量つまみを表示し、 をクリックして にしてください。	–
	ディスプレイが省電力モードになっている。	省電力時には音声出力を止める仕様となっております。	「省電力機能」（→ P.24）
	オーディオケーブルが正しく接続されていない。	オーディオケーブルが本製品とパソコン本体の適切な場所に接続され、しっかりと奥まで差し込まれていることを確認してください。	「パソコンと接続する」（→ P.13）
スピーカーからプツプツという雑音が聞こえる	本製品の近くで携帯電話、トランシーバーなどの電波を発生する装置を使用している。	故障ではありません。携帯電話、トランシーバーなどを本製品から離してお使いになるか、使用をおやめください。	–
電源投入時などに「プチッ」とノイズ音がする	オーディオ回路の出力信号が不安定なため発生します。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	–

8 日常のお手入れ

清掃する

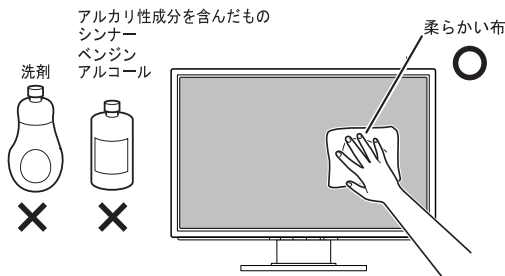
お手入れの前に本製品の電源を切り、電源プラグをコンセント、またはパソコン本体のアウトレットから抜いてください。

重要

- 化学ぞうきんや市販クリーナーは、次の成分を含んだものがあり、画面の表面コーティングやカバーを傷つける場合がありますので、使用しないでください。
  - ・アルカリ性成分を含んだもの
  - ・界面活性剤を含んだもの
  - ・アルコール成分を含んだもの
  - ・シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
  - ・研磨材を含んだもの

  など
- 清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。

□ 画面（液晶パネル）

ガーゼなどの柔らかい布で拭いてください。

□ カバー

水または中性洗剤を含ませ、固く絞った布で拭いてください。中性洗剤を使用した場合は、水に浸して固く絞った布で、中性洗剤を拭き取ってください。また、拭き取りのときには、本製品に水が入らないように充分注意してください。

9 仕様

本体仕様

項目		VL-20WB2A	VL-20WB2G
入出力 I/F（コネクタ）	アナログ RGB コネクタ（ミニ D-Sub15 ピン）注1	映像信号：アナログ（セパレート同期信号/TTL） 0.7Vp-p（正極性）、75Ωインピーダンス	
	DVI-D コネクタ（DVI-D）注1	映像信号：デジタル（TMDS/HDCP対応）	
	オーディオ入力端子（φ3.5 ステレオミニジャック）	音声信号：アナログ	
表示部	画面サイズ	20型（対角50.8cm） ノングレア液晶	20型（対角50.8cm） スーパーファインVX液晶
	表示寸法	442.8mm（H）×249.1mm（V）	
	液晶パネル	TFTカラー液晶	
	最大解像度（モード）	1600×900ドット	
	画素ピッチ	0.277mm×0.277mm	
	表示色	1677万色	
機能	入力対応解像度（モード）	640×480、720×400、800×600、1024×768、1280×800、1440×900、1600×900	
	チルト	下5°～上35°	
	スイーベル	左右各170°	
	ハイト	最大120mm	
電源	入力	AC100V 50/60Hz（入力波形は正弦波のみサポート）	
	最大消費電力	26W／49VA（オーディオ動作時）	
	ご購入時消費電力	21W（出荷輝度設定時およびオーディオ非動作時）	
	LED エコモード「オン」時消費電力	12W	
	最小消費電力（省電力動作時注2）	0.4W	
	電源ボタン「オフ」時注3	0.3W	
音声部	最大出力	1.5W/ch	
	出力音圧レベル（ユニット）	80dB/W（1m）	
	周波数特性	500Hz～20kHz	
外形寸法		475mm（W）×168mm（D）×320～440mm（H）	
質量		約4.4kg（本体） 約2.8kg（表示部）	
使用環境	温度	10～35℃	
	湿度	20～80%（RH）（結露しないこと）	

注 1: 本製品は、VESA（Video Electronics Standards Association）の DDC/CI(Display Data Channel Command Interface) 規格に対応しています。

注 2: パソコン本体で設定した自動的にディスプレイの電源を切る時間が経過して、スピーカーを使用せず、明るさを特に調整しない状態での使用を想定しています。電源ランプがオレンジ色の状態です。

注 3:「電源ボタン「オフ」時」の電力消費は、電源ケーブルをコンセントまたはパソコン本体のアウトレットから抜くことで 0 にすることができます。

標準表示仕様

本製品には、ご購入時に次のような表の解像度（モード）の調整値が登録されています。
（走査方式がインターレースの信号は対応していません。）

○：表示可能　◎：推奨解像度（モード）

No	解像度（モード）	水平周波数	垂直周波数	表示可能解像度（モード）	
				アナログ	デジタル
1	720 × 400	31.5kHz	70Hz	○	○
2	640 × 480	31.5kHz	60Hz	○	○
3	640 × 480	37.9kHz	72Hz	○	－
4	640 × 480	37.5kHz	75Hz	○	－
5	800 × 600	37.9kHz	60Hz	○	○
6	800 × 600	48.1kHz	72Hz	○	－
7	800 × 600	46.9kHz	75Hz	○	－
8	1024 × 768	48.4kHz	60Hz	○	○
9	1024 × 768	56.5kHz	70Hz	○	－
10	1024 × 768	60.0kHz	75Hz	○	－
11	1280 × 800	49.3kHz	60Hz	○	○
12	1280 × 800	49.7kHz	60Hz	○	○
13	1440 × 900	55.5kHz	60Hz	○	○
14	1440 × 900	55.9kHz	60Hz	○	○
15	1600 × 900	60.0kHz	60Hz	◎	◎

重要

- 接続するパソコンの種類により、表示位置などが多少ずれることがあります（アナログ入力時）。
  その場合は AUTO ボタンにて自動調整を行ってください。
  自動調整で調整しきれない場合は、「調整項目の内容」（→ P.21）の「フェーズ」「クロック」「水平位置」または「垂直位置」で調整してください。
  パソコン側での微調整は行わないでください。
- 上表以外の解像度（モード）にパソコンを設定すると、正常に表示されなくなる場合があります。
- 1600 × 900 以外の解像度（モード）では、文字の輪郭がはっきり見えなかったり、細かなストライプの太さが揃わなかったりすることがあります。これは、擬似的に拡大表示しているためであり、故障ではありません。
- 上表の解像度（モード）であっても、スキャンコンバーターで表示された NTSC 信号については、表示品位を保証するものではありません。

POINT

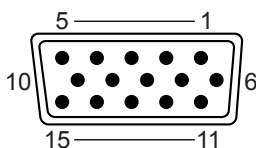
- ご購入時の設定（1600 × 900）でのご使用をお勧めします。

コネクタ仕様

■ アナログ（ミニ D-Sub15 ピン・コネクタ）

端子配列表

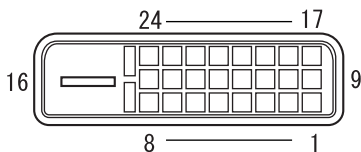
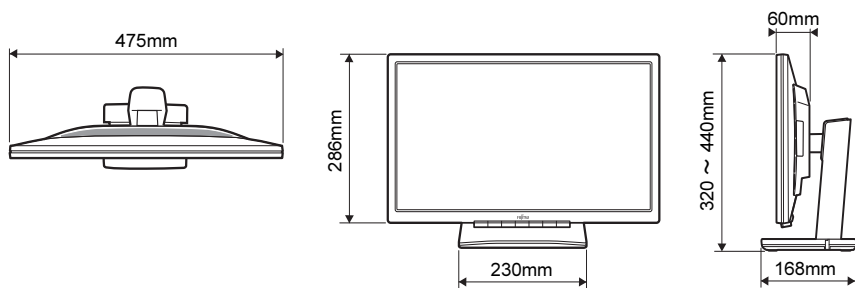
No.	信号	No.	信号	No.	信号
(1)	R（映像）	(6)	GND	(11)	GND
(2)	G（映像）	(7)	GND	(12)	DDC DATA
(3)	B（映像）	(8)	GND	(13)	水平同期
(4)	GND	(9)	DDC+5V	(14)	垂直同期
(5)	GND	(10)	GND	(15)	DDC CLOCK

端子配列図

■ デジタル（DVI-D コネクタ）

端子配列表

No.	信号	No.	信号	No.	信号
(1)	TX2-	(9)	TX1-	(17)	TX0-
(2)	TX2+	(10)	TX1+	(18)	TX0+
(3)	TX2 Shield	(11)	TX1 Shield	(19)	TX0 Shield
(4)	NC 注	(12)	NC 注	(20)	NC 注
(5)	NC 注	(13)	NC 注	(21)	NC 注
(6)	DDC/SCL	(14)	DDC +5V	(22)	TXC Shield
(7)	DDC/SDA	(15)	DDC GND	(23)	TXC+
(8)	NC 注	(16)	HPD	(24)	TXC-

注　NC: 未接続

端子配列図

外形図

液晶ディスプレイ -20 ワイド（VL-20WB2A/20WB2G）
取扱説明書

B6FJ-8121-01 Z0-00

発 行 日　2012 年 1 月
発 行 責 任　富士通株式会社

〒 105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター